

# パルストルネーダーの使用法

## 特徴

パルスエアーで、潜り込んだ汚れ、染み汚れを車外へ叩き出す

## 必要部材

- 1) パルストルネーダー本体
- 2) エアーコンプレッサー (吐出空気量が90リットル/min以上、圧力8kgf/cm<sup>2</sup>以上)
- 3) 水の入ったバケツ
- 4) タオル・セーム革・万能スポンジなど
- 5) 必要に応じ、洗浄剤
- 6) 扇風機・掃除機

## 基本使用要領 (モケットシート・天井など)

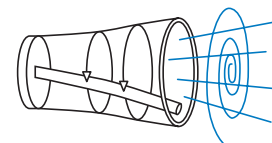
- 1) 出来る限りドアと窓ガラスは開けて、風上より作業してください。  
風の無い時又は、屋内作業時は、扇風機を使用。
- 2) エアー状態で使用し、奥に潜ったチリ・ホコリが無くなるまで除去。 (使用圧力：7~9kgf/cm<sup>2</sup>)
- 3) 液剤噴霧による染み汚れの除去。 (使用圧力：7~9kgf/cm<sup>2</sup>)  
この時ガイドコーン内側に汚れが溜まりますのでバケツの中で噴射洗浄しながら作業してください。  
2) 3) は、いずれも2~3cm離れた使用が高効率です。  
上向き使用時は、回転スピードが増し、生地を傷めますのでレギュレーターにて圧力調整してください。  
液剤タンクに使用する液剤は指定のものをお奨めいたします。  
(オキシクリーンをお奨めいたします。1回1ℓに対して2gの使用で、ぬるま湯で溶かして使用して下さい。)  
油汚れなどは、予め油分分解洗浄液を噴き付けてから作業すると良いでしょう。
- 4) 洗浄作業終了後はエアーブローによる水切り乾燥で乾燥を仰ぎます。
- 5) 仕上げ乾燥は、自然乾燥又は、エアコン使用が、良いでしょう。
- 6) 最後に、もう一度車内の汚れチェック。

**注意：ガイドコーン・回転チューブは消耗品ですが、使用状況により寿命は大きく変動します。**

## アドバイス

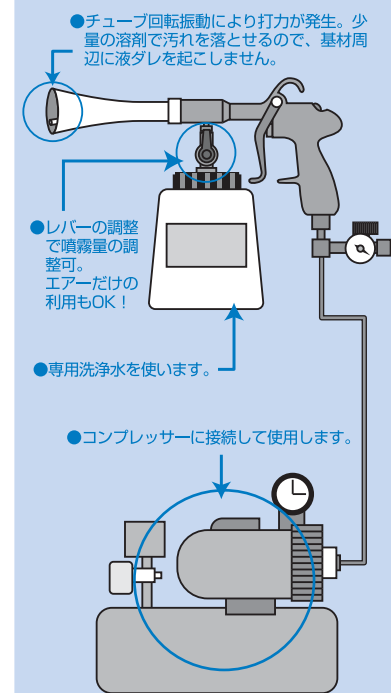
- 1) ビニール・プラスチック・ウレタン部分は、万能スポンジ (消しゴムタイプ) にて清掃してください。  
(又は、プラチナレザークリーナーの使用が効果的です。)  
スポンジはたっぷりの水を含ませ軽くこすって使用してください。
- 2) ステレオ機器などは、ホコリなど入らない様養生をしてください。
- 3) アルミホイールの入組んだ部分は、先にアルミホイールクリーナーなどを噴き付けてから、パルストルネーダーにて洗浄する。
- 4) ウレタンバンパーに入り込んだワックスなども簡単に除去できます。
- 5) 使用アイデアは他にもたくさんあります。

## パルス(回転)式ノズルの特徴








- パルスエアー式とは遠心力を応用したエアーのことです。前へ出ようとする力と横に振ろうとする力が打力となって、実際よりも強い圧力で汚れの粒子を効果的に落とします。
- パルスエアーに液体噴射を連動させると非常に細かな噴霧粒子を生成し、通常では落としにくい部分の汚れを簡単に落とします。

## 使用方法・特徴



# ⚠️ 必ずお読み下さい!! ⚠️

## 安全上のお願い

-  パルストルネーダーご使用前に、このシート、付属の取扱説明書及びパルストルネーダー活用方法を十分にお読みください。
-  高圧の圧縮空気を使用しますので危険です。適正な器具や部品を使用し、推奨圧力範囲を守ってください。
-  絶対に分解や修理・改造をしないで下さい。故障や事故の原因になります。
-  回転チューブガイドコーンをはずした状態では、絶対に使用しないで下さい。大変危険です。
-  異常振動・異音などが発生した場合はただちに使用を中止し、販売店またはメーカーにお問合せください。

## ご使用前に

- 1) 回転チューブガイドコーンが摩耗していないか確認し、摩耗していたら新しいものと交換します。（この作業は、必ずエアースをトルネーダー本体からはずした状態で行ってください。）
- 2) 必要に応じて洗剤カップに指定の洗剤を入れ、トルネーダーに装着します。
- 3) エアースやコンプレッサーに異常がないことを確かめます。
- 4) 本体のカプラーにホースと接続しレギュレーターを調整します。このとき、接続部分やホースから空気が漏れていないことを確認してください。
- 5) 必要に応じて、洗剤バルブをONかOFFにセットします。
- 6) 以上で準備は整いました。付属の取扱説明書やパルストルネーダー活用方法に従って、安全に作業してください。